

科目名	音楽 I G					単位	2.0
担当教員	水野 伸子						
授業形態	演習	開講期間	通年	配当年次	1	授業番号	7226

●授業のテーマ

保育者に必要な音楽的専門性を、ピアノ演奏技能の習得を通して身につける。

●到達目標

ピアノの学習経験のおおよそない者は、楽典の基礎知識の習得とともに『バイエル』80 番程度まで終了することを目指す。経験者は、さらなるピアノ演奏技術の向上と、音楽的内容を理解し強弱などの表現を自分なりに工夫して思いや意図をもった表現を目指す。伴奏を弾きながらのびのびと歌唱表現できる能力を身につける。

●学習内容(授業概要)

グループまたは個別レッスンを通して演奏技能を高めるとともに、以下の内容により、到達目標に掲げる力を身につける。

- ・ 音楽の基礎的な理論（楽典）を学ぶ。
- ・ ピアノの演奏技能習得のための練習方法を学ぶ。
- ・ 自分の課題を明確にして自主練習に励み、その到達具合を授業の中で確認する。
- ・ 曲の雰囲気や音楽的な内容を理解し、音楽表現に対する思いや意図をもつ。
- ・ 伴奏を弾きながら、のびのびと歌唱表現する

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. オリエンテーション①(ピアノ学習経験についてのアンケート、練習室の使用等)
2. オリエンテーション②(レッスン時間割の調整、確認、課題の相談等)
3. 学習経験のない者：『バイエル』を用いて読譜のトレーニング、及び片手奏をする。『かえるのうた』の弾き歌いをする。学習経験のある者：『バイエル』80 番以上の曲から一曲以上を演奏し、音楽的な内容を理解する。『こどものうた 200』より1曲弾き歌いをする。
4. 学習経験のない者：『バイエル』を用いて読譜のトレーニング、及び両手で違う動きができるようにする。『かえるのうた』の弾き歌いをする。学習経験のある者：前回の曲に強弱をつけて弾けるようにする。『こどものうた 200』より1曲弾き歌いをする。
5. 学習経験のない者：『バイエル』を用いて読譜のトレーニング、和音、スタッカート弾けるようにする。『きらきら星』の弾き歌いをする。学習経験のある者：前回の曲を思いや意図をもって演奏し仕上げる。『こどものうた 200』より1曲弾き歌いをする。
6. 学習経験のない者：『バイエル』を用いて読譜のトレーニング、及び左手が細かく動けるようにする。『きらきら星』の弾き歌いをする。学習経験のある者：新しい曲を演奏し、音楽的な内容を理解する。『こどものうた 200』より1曲弾き歌いをする。
7. 学習経験のない者：『バイエル』を用いて読譜のトレーニング、及び四分音符のさまざまな動きを弾けるようにすることと、1曲弾き歌いをする。学習経験のある者：前回の曲に強弱等をつけて弾けるようにする。『こどものうた 200』より1曲弾き歌いをする。
8. 学習経験のない者：『バイエル』で八分音符を四分音符の間に入れて弾けるようにすることと、1曲弾き歌いをする。学習経験のある者：前回の曲を思いや意図をもって演奏し仕上げる。『こどものうた 200』より1曲弾き歌いをする（前期末授業時に、グループごとに発表会をして演奏を聴き合う）。

## 《後期》

1. 学習経験のない者：『バイエル』で八分音符の細かい動きができるようにすることと、1曲弾き歌いをする。学習経験のある者：次の曲を演奏し、音楽的な内容を理解する。『こどものうた 200』より1曲弾き歌いをする。
2. 学習経験のない者：『バイエル』で#、bの付いた曲を弾くことと、1曲弾き歌いをする。学習経験のある者：前回の曲に強弱等をつけて弾けるようにする。『こどものうた 200』より1曲弾き歌いをする。
3. 学習経験のない者：『バイエル』で#、bの付いた曲を弾くことと、1曲弾き歌いをする。学習経験のある者：前回の曲を思いや意図をもって演奏し仕上げる。『こどものうた 200』より1曲弾き歌いをする。
4. 学習経験のない者：『バイエル』で#、bの付いた曲を弾くことと、1曲弾き歌いをする。学習経験のある者：発表会で弾く曲を演奏し、音楽的な内容を理解する。『こどものうた 200』より1曲弾き歌いをする。
5. 学習経験のない者：『バイエル』で#、bの付いた曲を弾くことと、1曲弾き歌いをする。学習経験のある者：発表会で弾く曲に強弱等をつけて弾けるようにする。『こどものうた 200』より1曲弾き歌いをする。
6. 発表会で弾く曲を思いや意図をもって演奏する。
7. 授業発表会(みんなの前でピアノ曲と子どもの歌の弾き歌い、各1曲以上演奏する)

## ●準備学習・事後学習の内容

準備学習：授業で弾く曲の音楽的な内容を理解し、よく練習しておくこと

事後学習：授業で指摘された音やリズムの間違いを直し表現の工夫等についてのアドバイスを参考にして、よく練習すること。

## ●成績評価方法・基準

授業発表会(ピアノ曲)30%、授業およびピアノ学習への取り組み(毎回の課題に向けた練習状況)30%、半年間の演奏技能・表現力の高まり40%

## ●テキスト(必携)

全員『バイエル』と『こどものうた 200』を購入すること。ただし、既に持っているものについては、購入の必要はない(出版社名は問わない)。経験者は、『バイエル』終了後、進度に応じて担当教員より個別に指示する。

《No.1.》書籍名：標準バイエルピアノ教則本、著者名：フェルディナント・バイエル、出版社：全音楽譜出版社、販売先：生協

《No.2.》書籍名：こどものうた 200、著者名：小林美実編、出版社：チャイルド本社、販売先：生協

《No.3.》書籍名：ブルグミュラー25の練習曲、著者名：ヨハン・フリードリッヒ・フランツ・ブルクミュラー、出版社：全音楽譜出版社、販売先：生協、備考：バイエル程度の者

《No.4.》書籍名：ソナチネ・アルバム、出版社：全音楽譜出版社、販売先：生協

## ●参考文献/その他

音楽の理論・ピアノ奏法・伴奏法に関する本を授業の中で適宜紹介する

## ●履修上の注意

ピアノの演奏技能を習得するためには、日々の継続的なピアノ練習が不可欠である